

令和7年度版
行田市環境報告書
～この地球とともに～



(2025「田んぼアート」in 行田)

令和8年3月
行田市

目 次

行田市環境報告書とは	1
（１）環境報告書作成の背景及び目的	1
（２）構 成	1
第 1 章 環境に関する市の取組みについて	2
（１）環境に関する計画等の位置づけ	2
（２）環境基本計画の概要	3
（３）環境基本計画の点検・評価の仕組み	4
第 2 章 環境基本計画の進捗状況及び市内の環境について	6
（１）施策の進捗及び目標の達成状況	7
施策 1 気候変動：カーボンニュートラル	8
施策 2 資源循環：サーキュラーエコノミー	12
施策 3 自然環境：ネイチャーポジティブ	15
施策 4 生活環境	18
施策 5 環境保全活動	22
資 料 指標・評価一覧表（令和 6 年度分）	

行田市環境報告書とは

(1) 環境報告書作成の背景及び目的

行田市（以下、市という）では、2004（平成 16）年 3 月に「第 1 次行田市環境基本計画」を、2014（平成 26）年 3 月には、「第 2 次行田市環境基本計画」を策定し、環境の保全等に関する施策を推進してきました。2022（令和 4）年 1 月には、2050（令和 32）年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロの実現を目指し「行田市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

このような背景のもと、2025（令和 7）年 3 月に「第 3 次行田市環境基本計画（以下、環境基本計画という）」を策定し、環境の保全及び創造に関する施策を展開してまいります。この環境基本計画の実効性をより確実にすることを目的に、「第 3 次行田市環境基本計画実行計画」（以下、実行計画という）を策定しました。

これらを受けて、毎年度、市の環境の現状や、環境に関する施策の進捗状況などを把握するため『行田市環境報告書』を作成します。

(2) 構成

この環境報告書は、次のように 2 章から構成されています。

■第 1 章 環境に関する市の取組みについて

環境基本計画をはじめとする環境に関する各種計画の位置づけや、環境基本計画の概要、点検・評価の仕組みについて紹介しています。

■第 2 章 環境基本計画の進捗状況及び市内の環境について

市の自然環境、生活環境（公害）、都市環境、資源・エネルギー、環境保全活動の現状について紹介するとともに、環境基本計画に掲げられている施策の進捗状況及び指標・目標の達成状況について報告しています。

—— 第1章 環境に関する市の取組について ——

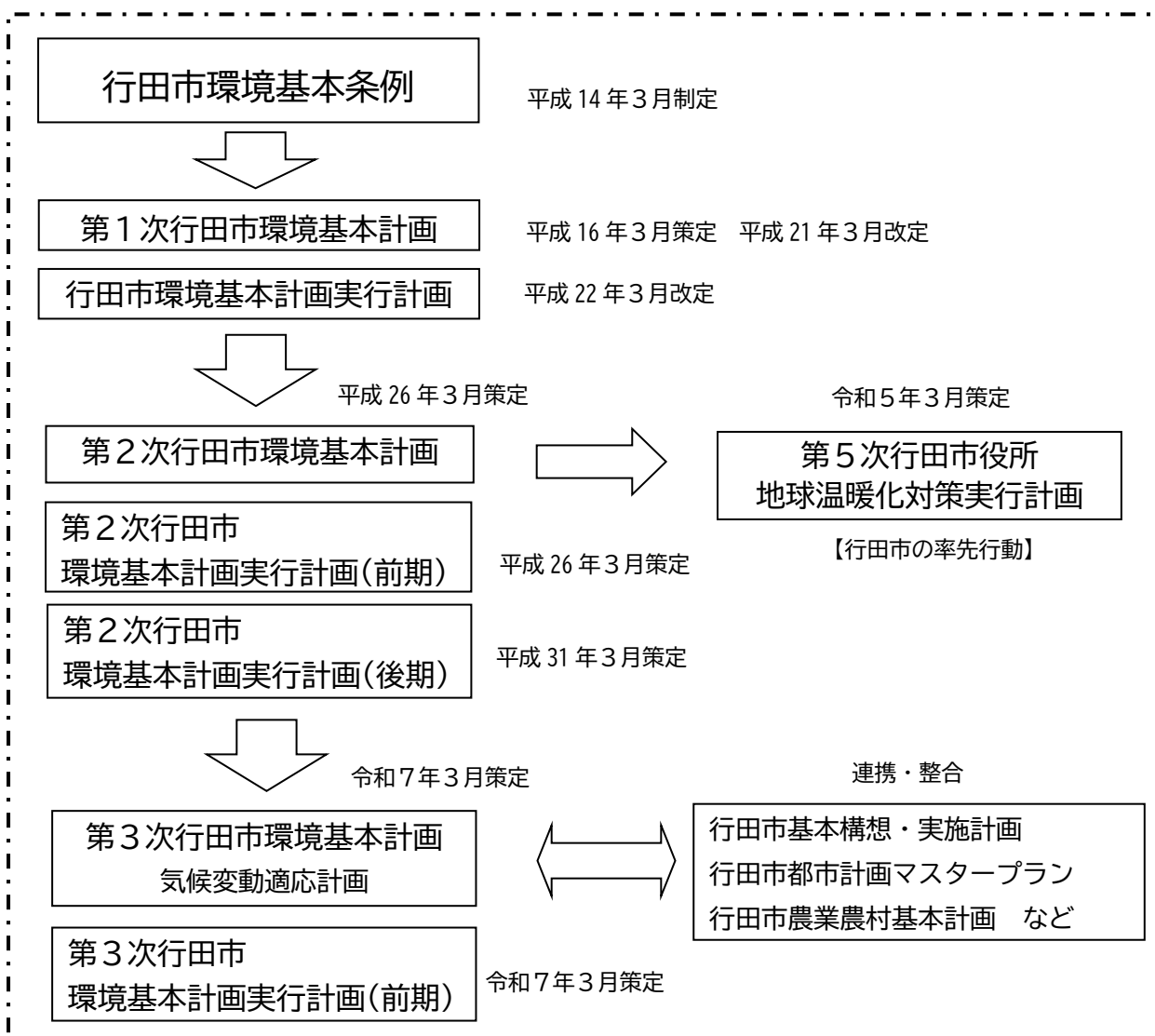
本章では、市の環境の保全や創造に関する施策を進めるための計画である『行田市環境基本計画』（以下、「環境基本計画」という。）を中心とする環境に関する計画等の位置づけや、環境基本計画の概要、進行管理の体制等を紹介します。

（１）環境に関する計画等の位置づけ

市では、平成14年3月に制定された『行田市環境基本条例』をはじめとし、環境基本計画、実行計画等を策定し、環境への取組みを進めてきました。

これらの環境に関する計画等の位置づけは、以下のとおりです。

●環境に関する計画等の位置づけ



(2) 環境基本計画の概要

市では、2004（平成16）年3月に「第1次行田市環境基本計画」を、2014（平成26）年3月には、「第3次行田市環境基本計画」を策定し、環境の保全等に関する施策を推進してきました。

この間、世界に目を向けると、SDGsの採択やパリ協定の発効など、持続可能な社会の実現のための動きが加速しています。

国においては、気候変動に伴う災害発生や新型コロナウイルス感染症の影響等さまざまな課題が顕著となり、環境行政に対する責務も高度化・多様化していることから、環境・経済・社会の総合的向上を図ることを目的に、2024（令和6）年5月に「第6次環境基本計画」が閣議決定されました。

市では、環境政策を着実に推進するため、2022（令和4）年1月に「行田市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050（令和32）年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロの実現を目指すことを宣言しました。

このような背景のもと、「第3次行田市環境基本計画（以下「本計画」という）」を策定し、環境の保全及び創造に関する施策を展開してまいります。

○計画の期間

計画の期間は、2024（令和6）年度から2029（令和11）年度までの6年間です。

○計画の推進主体及び対象範囲

計画の推進主体は、市民、事業者及び市が、相互に役割を分担し連携・協力しながら推進するものとします。

また、対象範囲は気候変動、資源循環、自然環境、生活環境、環境保全活動とし、持続可能な社会の実現に向けた総合的なものとします。

環境基本計画の実効性をより確実にするために策定された実行計画は、各指標による個別目標及び実施スケジュール、計画の進捗状況・目標達成状況を評価するための数値目標などを定めています。

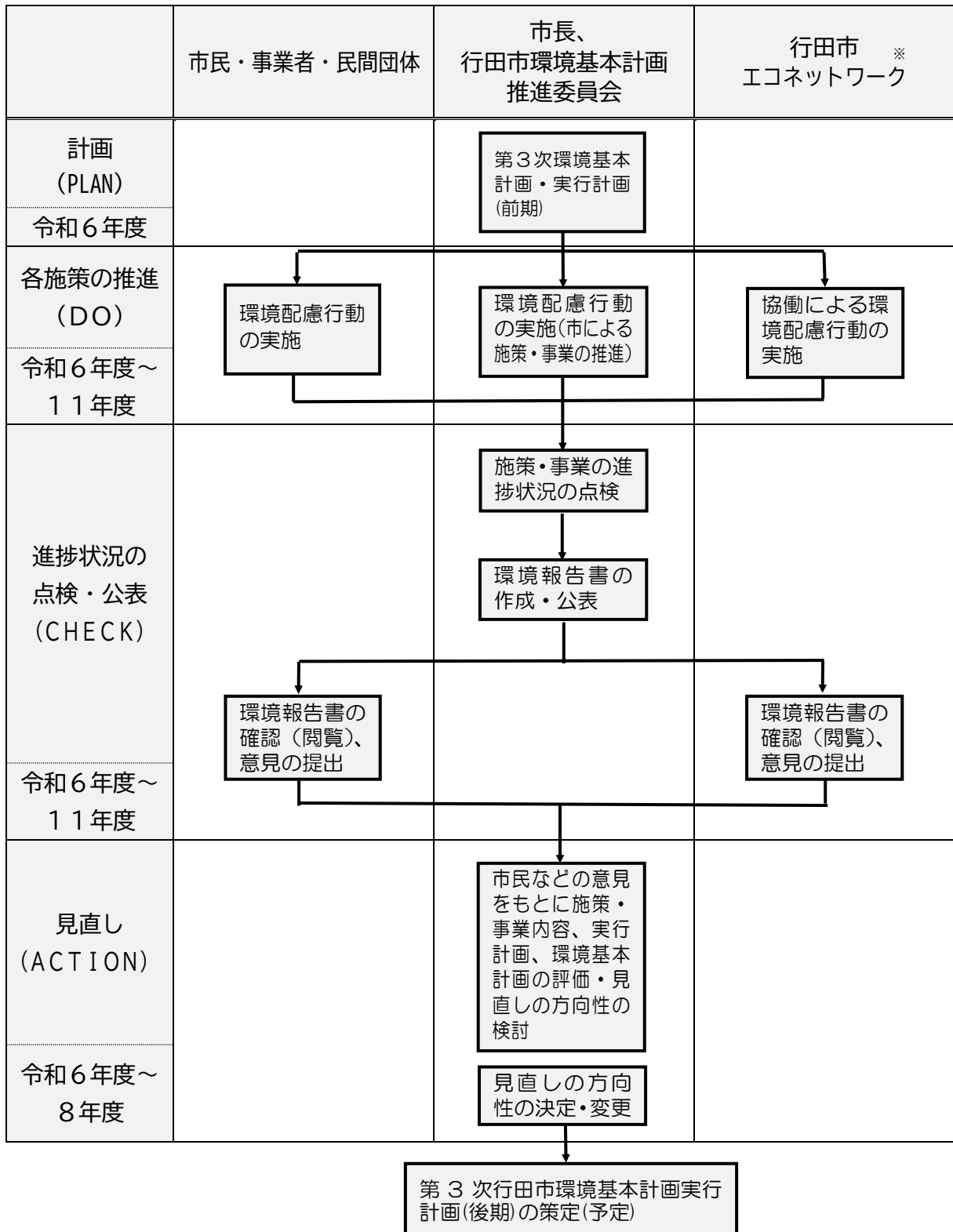
(3) 環境基本計画の点検・評価の仕組み

環境基本計画における課題解決のため、市民・事業者及び市による自主的、継続的な取組の改善が重要です。そのため、環境基本計画の進行管理は、以下の表のとおり、計画（Plan：環境基本計画、実行計画）→施策の実施（Do）→進捗状況の点検・評価（Check）→施策の改善・見直し（Action）という、PDCA サイクルによる進行管理システムを導入しています。

このシステムは、環境基本計画に基づく各主体の取り組みの進捗状況を点検・評価して、環境報告書を公表し、各主体、各組織のコミュニケーションを図りながら、今後の施策・事業のあり方や計画の見直しに反映させようというものです。



●進行管理の流れ



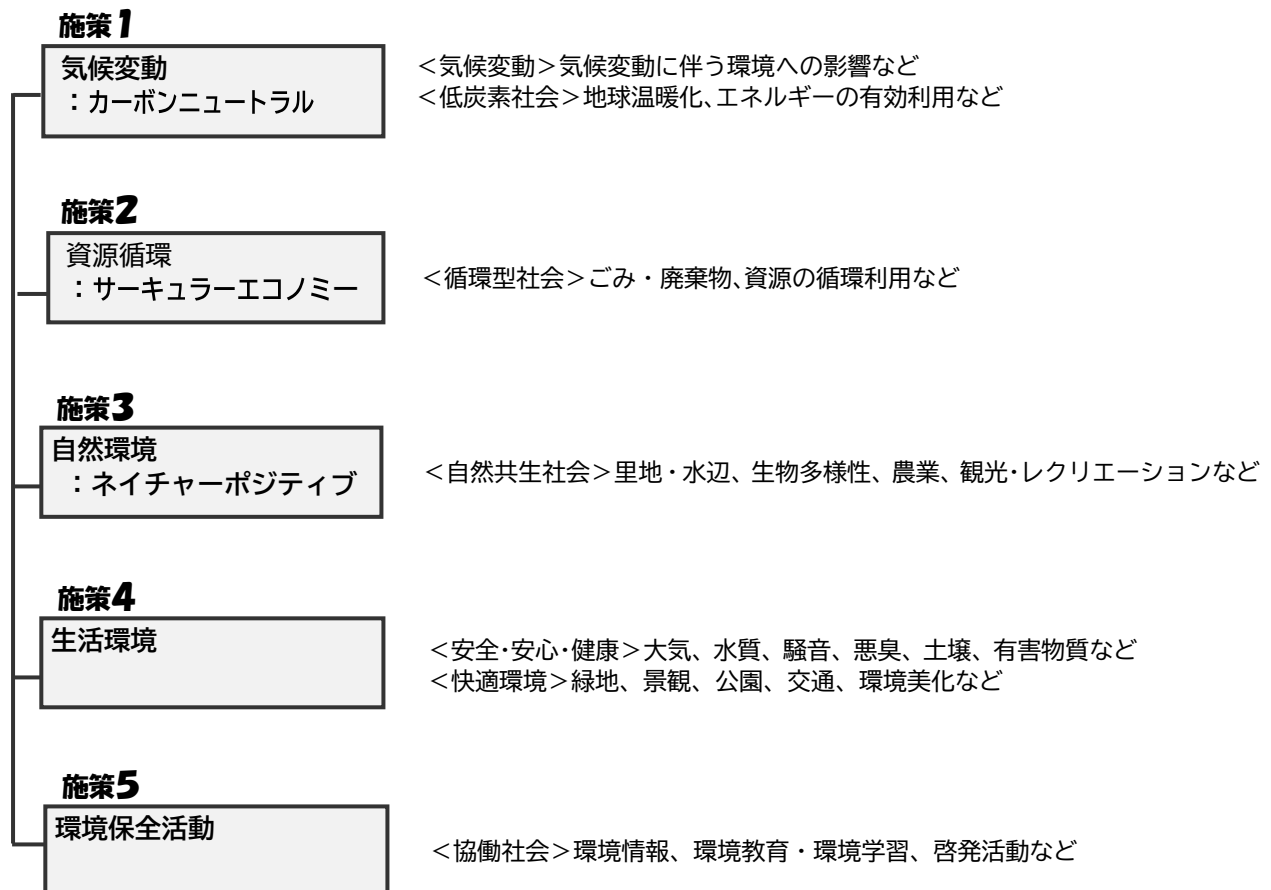
※「行田市エコネットワーク」は、主に環境活動を実施している民間団体の総称です。

第2章 環境基本計画の進捗状況 及び市内の環境について

本章では、環境基本計画の進捗として、施策ごとに定められた目標の達成状況について報告するとともに市の環境の現状について紹介します。

●5つの施策とは

第3次行田市環境基本計画（3ページ参照）は、計画の対象範囲として、以下のとおり「5つの施策」とそれぞれの項目を設定しています。



(1) 施策の進捗及び目標の達成状況

ここでは、5つの施策と、令和6年度における実行計画で設定した目標の達成状況を報告します。

実行計画で設定した目標は、1年間の達成状況を目標とする「単年目標」です。

1年間の実績値を毎年度評価します。

達成度を評価する基準は、以下のとおりです。

目標の設定方法

基準値	実績値	評価年度
令和5年度	1年間値	毎年度

目標・指標設定にあたってのポイント

- ①市民にとってわかりやすいこと
- ②なるべく身近で実感しやすいものであること
- ③複数の観点から、基本目標の達成状況を測れるものであること

評価基準一覧

評価基準	
A	目標が達成されている（目安：100%）
B	目標達成のための取組みは行われており、概ね達成されている（目安：80%以上）
C	目標達成のための取組みは行われているが、達成がやや不十分である（目安：40%～80%）
D	目標達成のための取組みは行われているが、達成が不十分である（目安：40%未満）
E	目標達成のための取組みが実施されていない（目安：0%）
- (ハイフン)	評価することが困難である 事業実施予定なし

施策1 気候変動：カーボンニュートラル

●総括 施策全体の進捗状況と目標達成状況

この分野の施策の進捗や効果を測る指標・目標は20あります。取組状況を総括すると、以下のようになりました。

目標達成状況	・目標である20指標のうち14指標で目標を達成（A評価）しました。（達成率70%）
--------	---

●施策の進捗状況と目標達成状況（詳細）

1 気候変動：カーボンニュートラル

1-1 省エネルギー活動の普及

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
市街地の街路照明灯のLED照明導入率※1	—	目標	45%	50%	55%	商工観光課
		実績	46.3%			
		評価	A			
自転車の利用しやすい道路の整備延長※2	11,510m	目標	11,870m	12,185m	12,285m	道路治水課
		実績	11,510m			
		評価	B			
公共交通の利用者数※3	406万人	目標	406万人	406万人	406万人	交通対策課
		実績	411万人			
		評価	A			
市内循環バスなど公共交通の利便性に不満を感じている人の割合※4	56.1%	目標	56.1%	53.0%	50%未満	交通対策課
		実績	49.5%			
		評価	A			
市域から排出される温室効果ガス排出量削減※5	438千t-CO ₂	目標	428千t-CO ₂	418千t-CO ₂	408千t-CO ₂	環境課
		実績	435千t-CO			
		評価	B			

※1 各商店会及び街路灯管理組合、富士見工業団地協議会で導入されているLED照明の割合

※2 自転車歩行者道：幅員3mまたは4m以上

※3 鉄道、路線バス、市内循環バス各路線、乗合型AIデマンドタクシーの年間利用者数

※4 アンケート調査で「不満」「どちらかといえば不満」と答えた人の割合

※5 基準値は令和4年度の値（埼玉県ホームページより）

1-2 省エネルギーの率先行動

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
公園園内灯のLED照明導入数	132基	目標	134基	136基	138基	都市計画課
		実績	137基			
		評価	A			
公共施設の電気使用量	12,626,462 kWh	目標	12,426,462 kWh	12,226,462 kWh	12,026,462 kWh	各課 (環境課)
		実績	12,554,458 kWh			
		評価	B			
水道の有収率※1	85.9%	目標	87.0%	87.5%	88.0%	水道課
		実績	85.4%			
		評価	B			
下水道施設（ポンプ場群）の電気使用量	677kWh	目標	677kWh	677kWh	677kWh	下水道課
		実績	675kWh			
		評価	A			
雨水貯留タンクの導入施設数※2	2カ所	目標	2カ所	2カ所	2カ所	中央公民館 地域共生社会推進課
		実績	2カ所			
		評価	A			
市の業務から排出される温室効果ガス排出量削減	6,646.1 t-CO ₂	目標	5,000.0 t-CO ₂	4,800.0 t-CO ₂	4,600.0 t-CO ₂	各課 (環境課)
		実績	7,593.5 t-CO ₂			
		評価	C			

※1 水道水をつくり送り出す給水量に対し、収入として計上される有収水量の割合。これを向上させることで、無駄になる水道水を減少させる。

※2 導入済の施設数

1-3 再生可能エネルギーの利用促進

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
太陽光発電システムの住宅設置率※1	12.6%	目標	12.8%	13.0%	13.2%	環境課
		実績	13.1%			
		評価	A			
公共施設の太陽光発電システム導入施設数※2	2カ所	目標	2カ所	2カ所	2カ所	中央公民館
		実績	2カ所			
		評価	A			
公共用施設の太陽熱温水施設の導入数※3	1カ所	目標	1カ所	1カ所	1カ所	地域共生社会推進課
		実績	1カ所			
		評価	A			
公共施設の蓄電設備導入施設数※4	1カ所	目標	1カ所	1カ所	1カ所	中央公民館
		実績	1カ所			
		評価	A			

※1 設置済の割合

※2 導入済の施設数

※3 導入済の施設数

※4 導入済の施設数

1-4 二酸化炭素吸収量確保の促進

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
公共施設での県産木材の使用	1件	目標	1件	2件	2件	農政課
		実績	0件			
		評価	D			
住宅等での県産木材の使用	—	目標	5件	20件	20件	農政課
		実績	5件			
		評価	A			

1-5 気候変動への適応に向けた取組推進

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
田んぼダム整備面積※1	4 ha	目標	14ha	14ha	14ha	農政課
		実績	14ha			
		評価	A			
小・中学校の校庭貯留施設整備※2	10 カ所	目標	10 カ所	11 カ所	12 カ所	道路治水課
		実績	10 カ所			
		評価	A			
クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)の整備※3	33 カ所	目標	33 カ所	33 カ所	33 カ所	健康課
		実績	33 カ所			
		評価	A			

※1 整備済の面積

※2 小学校及び中学校の実施済の数

※3 クーリングシェルター設置済の施設数

施策2 資源循環：サーキュラーエコノミー

●総括 施策全体の進捗状況と目標達成状況

この分野の施策の進捗や効果を測る指標・目標は16あります。取組状況を総括すると、以下のようになりました。

目標達成状況	・目標である16指標のうち10指標で目標を達成（A評価）しました。（達成率62%）
--------	---

●施策の進捗と目標達成状況（詳細）

2 資源循環：サーキュラーエコノミー

2-1 4R活動の実践

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
ごみ集積所における未分別件数	435件	目標	420件	400件	380件	環境課
		実績	513件			
		評価	B			
再生利用率※1	7%	目標	7%	8%	8%	環境課
		実績	7.2%			
		評価	A			
不用品情報の利用件数※2	396件	目標	400件	420件	440件	環境課
		実績	330件			
		評価	B			
廃食用油の回収量	2,070kg	目標	2,100kg	2,200kg	2,300kg	環境課
		実績	2,130kg			
		評価	A			
建設リサイクル法の届出に対する分別解体状況の確認実施率	100%	目標	100%	100%	100%	建築開発課
		実績	100%			
		評価	A			
建設リサイクル法の無届工事の監視・パトロール実施数	週1回	目標	週1回	週1回	週1回	建築開発課
		実績	週1回			
		評価	A			
一人一日あたりのごみ排出量	919g	目標	915g	910g	905g	環境課
		実績	930g			
		評価	B			

※1 (資源収集量 ÷ (ごみ収集量 + 資源収集量)) × 100

※2 市報ぎょうだに掲載している「不用品情報」制度の利用件数

2-2 食品ロスの削減

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
食品廃棄物の削減 ^{※1}	12回	目標	12回	12回	12回	環境課
		実績	12回			
		評価	A			
規格外野菜の提供・販売 ^{※2}	60回	目標	60回	60回	60回	農政課
		実績	59回			
		評価	B			

※1 ライフ&フードドライブの実施回数

※2 行田はちまんマルシェなどの実施回数

2-3 ごみの適正処理の推進

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
環境センターの放流水の水質基準達成率	80%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	100%			
		評価	A			
長善沼最終処分場の地下水の水質基準達成率	100%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	100%			
		評価	A			
ごみ収集やごみ処理に満足している人の割合 ^{※1}	44.9%	目標	46.0%	47.5%	50.0%	環境課
		実績	54.3%			
		評価	A			
ごみ分別チャットボットの更新回数 ^{※2}	—	目標	2回	2回	2回	環境課
		実績	1回			
		評価	C			
野外焼却に対する指導件数	44件	目標	40件	40件	40件	環境課 消防本部 (消防総務課)
		実績	34件			
		評価	A			

※1 アンケート調査で「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合

※2 ごみ分別チャットボット（市公式 LINE にて会話形式でごみの分別方法を調べることができるサービス）の掲載内容の更新回数

2-4 不法投棄等の削減

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
不法投棄防止看板の設置枚数	49枚	目標	47枚	45枚	43枚	環境課
		実績	58枚			
		評価	B			
不法投棄監視パトロール回数	1回	目標	2回	3回	3回	環境課 農業委員会
		実績	2回			
		評価	A			

施策3 自然環境：ネイチャーポジティブ

●総括 施策全体の進捗状況と目標達成状況

この分野の施策の進捗や効果を測る指標・目標は18あります。取組状況を総括すると、以下のようになりました。

目標達成状況	・目標である18指標のうち11指標で目標を達成（A評価）しました。（達成率61％）
--------	---

●施策の進捗と目標達成状況（詳細）

3 自然環境：ネイチャーポジティブ

3-1 動植物の生息・生育空間の把握と創出

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
ビオトープ設置数 ※1	1カ所	目標	1カ所	1カ所	1カ所	環境課
		実績	0カ所			
		評価	E			
希少種の数※2	23種	目標	—	—	—	環境課
		実績	—			
		評価	—			
動植物の種類※2	435種	目標	—	—	—	環境課
		実績	—			
		評価	—			
指定文化財（樹木） の箇所数	11カ所	目標	11カ所	11カ所	11カ所	文化財保護課
		実績	11カ所			
		評価	A			
キタミソウの生育 確認回数	2回	目標	2回	2回	2回	環境課
		実績	2回			
		評価	A			

※1 設置済の数

※2 令和4年度に実施した自然環境調査（荒木地区長善沼、北河原地区切所沼、南河原地区星川、埼玉地区小
崎沼周辺の4地点の調査）。次回は環境基本計画の改定時期（令和11年度）にあわせて調査予定

3-2 外来生物の防除駆除の促進

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
アライグマの駆除件数	152件	目標	155件	200件	200件	環境課
		実績	198件			
		評価	A			
クビアカツヤカミキリ対策箇所数 ^{※1}	—	目標	13カ所	13カ所	13カ所	各課 (環境課)
		実績	28カ所			
		評価	A			
クビアカツヤカミキリ被害状況調査回数 ^{※2}	1回	目標	1回	1回	1回	各課 (環境課)
		実績	1回			
		評価	A			

※1 市公共施設における対策実施箇所

※2 市公共施設における被害状況の調査回数

3-3 緑地環境の保全と緑化の促進

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
緑道の面積	9.10ha	目標	9.10ha	9.10ha	9.10ha	都市計画課
		実績	9.10ha			
		評価	A			
公園の面積	1,136,744.7㎡	目標	1,136,744.7㎡	1,138,854.7㎡	1,138,854.7㎡	都市計画課
		実績	1,136,744.7㎡			
		評価	A			
生産緑地の面積	18.69ha	目標	18.69ha	18.69ha	18.69ha	都市計画課
		実績	18.08ha			
		評価	B			
樹木や雑草などの管理に関する指導件数	222件	目標	200件	175件	150件	環境課 農政課 建築開発課
		実績	224件			
		評価	B			

3-4 水辺空間の保全と活用

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
親水空間のある公園数	5カ所	目標	5カ所	5カ所	5カ所	都市計画課
		実績	5カ所			
		評価	A			
河川等の水辺空間の整備 ^{※1}	—	目標	2カ所	2カ所	2カ所	管理課 道路治水課
		実績	2カ所			
		評価	A			

※1 整備済の数

3-5 農地の保全と活用

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
直売所の出展者数 (JA直売所、古代蓮の里売店)	155人	目標	155人	155人	155人	農政課
		実績	155人			
		評価	A			
田んぼアートの参加人数	900人	目標	1,050人	1,050人	1,050人	農政課
		実績	1,499人			
		評価	A			
農地中間管理事業 取組面積 ^{※1}	488ha	目標	542ha	616ha	711ha	農政課
		実績	490ha			
		評価	B			
耕作放棄地面積	15.45ha	目標	14ha	13ha	12ha	農政課
		実績	20.8ha			
		評価	C			

※1 認定農業者が農地中間管理機構を介して集積している農地の面積（累計）

施策4 生活環境

●総括 施策全体の進捗状況と目標達成状況

この分野の施策の進捗や効果を測る指標・目標は23あります。取組状況を総括すると、以下ようになりました。

目標達成状況	・目標である23指標のうち18指標（A）で目標を達成しました。 （達成率78%）
--------	---

●施策の進捗状況と目標達成状況（詳細）

4 生活環境

4-1 大気汚染物質の発生源対策

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
環境基準達成率						
ダイオキシン類濃度	0.017 pg-TEQ/m ³	目標	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下	環境課
		実績	0.0075 pg-TEQ/m ³			
		評価	A			
浮遊粒子状物質（SPM）濃度	0.017mg/m ³	目標	0.1mg/m ³ 以下	0.1mg/m ³ 以下	0.1mg/m ³ 以下	環境課
		実績	0.016mg/m ³			
		評価	A			
二酸化硫黄（SO ₂ ）濃度	未検出	目標	0.04ppm以下	0.04ppm以下	0.04ppm以下	環境課
		実績	未検出			
		評価	A			
二酸化窒素（NO ₂ ）濃度	0.007ppm	目標	0.04ppm以下	0.04ppm以下	0.04ppm以下	環境課
		実績	0.006ppm			
		評価	A			
野外焼却に対する指導件数（再掲）	44件	目標	40件	40件	40件	環境課 消防本部 （消防総務課）
		実績	34件			
		評価	A			

4-2 自動車排出ガスの抑制

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
公用車への低公害車などの導入率	70.6%	目標	71%	73%	74%	財産管理課
		実績	71.2%			
		評価	A			
市内循環バスへの低公害車などの導入率	100%	目標	100%	100%	100%	交通対策課
		実績	100%			
		評価	A			

4-3 有害物質の適正使用・排出抑制

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
樹木などの有害性の低い薬剤の使用箇所	全箇所	目標	全箇所	全箇所	全箇所	商工観光課 道路治水課 都市計画課
		実績	全箇所			
		評価	A			

4-4 公共用水域の監視、汚濁防止

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
環境基準達成率（1河川4水路×年4回）						
生物化学的酸素要求量（BOD）	95%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	80%			
		評価	B			
水素イオン濃度指数（pH）	90%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	100%			
		評価	A			
浮遊物質（SS）	90%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	100%			
		評価	A			
溶存酸素量（DO）	100%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	100%			
		評価	A			

合併処理浄化槽 の転換補助件数	47 件	目標	40 件以上	40 件以上	40 件以上	環境課
		実績	28 件			
		評価	C			
合併処理浄化槽 の法定点検率	24%	目標	24.5%	25%	25.5%	環境課
		実績	43.4%			
		評価	A			
下水道整備率 ^{※1}	83.9%	目標	86.0%	86.4%	87.6%	下水道課
		実績	81.59%			
		評価	B			

※1 下水道整備面積（供用開始面積/事業認可面積）×100

4-5 土壌・地下水汚染の防止

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
土壌環境基準達成率（3カ所×年1回）						
ダイオキシン 類濃度	100%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	100%			
		評価	A			
地下水環境基準達成率（5カ所×年1回）						
トリクロロエ チレン	100%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	100%			
		評価	A			
テトラクロロ エチレン	100%	目標	100%	100%	100%	
		実績	100%			
		評価	A			
1,1,1-トリク ロロエタン	100%	目標	100%	100%	100%	
		実績	100%			
		評価	A			
透水性舗装の整 備面積 ^{※1}	37,552.4m ²	目標	38,800m ²	39,900m ²	40,250m ²	道路治水課
		実績	38,606m ²			
		評価	B			

※1 整備済の面積

4-6 騒音・振動・悪臭対策

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
道路騒音の環境基準達成率	100%	目標	100%	100%	100%	環境課
		実績	100%			
		評価	A			
上越新幹線騒音の測定値	74dB	目標	70 dB以下	70 dB以下	70 dB以下	環境課
		実績	75 dB			
		評価	B			

4-7 景観の保全

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
景観について魅力を感じている人の割合※1	28.4%	目標	30.0%	31.6%	33.2%	都市計画課
		実績	42.8%			
		評価	A			

※1 アンケート調査で「非常に魅力を感じる」「どちらかといえば魅力を感じる」と答えた人の割合

施策5 環境保全活動

●総括 施策全体の進捗状況と目標達成状況

この分野の施策の進捗や効果を測る指標・目標は10あります。取組状況を総括すると、以下のようになりました。

目標達成状況	・目標である10指標のうち8指標で目標を達成(A評価)しました。 (達成率80%)
--------	--

5 環境保全活動

5-1 環境配慮行動の推進と情報の発信

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
行田市環境報告書の公表回数	1回	目標	1回	1回	1回	環境課
		実績	1回			
		評価	A			
市民(市民団体)、事業者との協働事業件数	3件	目標	3件	3件	3件	環境課
		実績	3件			
		評価	A			
ごみゼロ運動の実施回数	2回	目標	2回	2回	2回	環境課
		実績	2回			
		評価	A			
公園の美化活動の実施回数	0回	目標	2回	2回	2回	都市計画課
		実績	0回			
		評価	E			

5-2 多様な環境教育の推進

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
環境教育の実施 小・中学校数	全20校	目標	全20校	全20校	全20校	教育指導課
		実績	全20校			
		評価	A			
環境に関する出前 講座の実施回数	2回	目標	2回	2回	2回	環境課
		実績	0回			
		評価	E			
市民大学における 環境教育関係講座 の実施回数	4回	目標	4回	4回	4回	生涯学習課
		実績	4回			
		評価	A			

5-3 環境イベントの実施

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
緑化コンクールへの 参加校数	2校	目標	2校	2校	2校	教育総務課
		実績	2校			
		評価	A			
緑や花のイベント 実施回数	4回	目標	5回	5回	5回	農政課
		実績	5回			
		評価	A			

5-4 環境配慮行動のリーダー育成

指標名	基準値	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
	令和5年度					
埼玉県環境教育ア シスタント及び埼 玉県環境アドバイ ザーの登録件数	5人	目標	5人	5人	5人	環境課
		実績	5人			
		評価	A			

行田市環境活動マップ～どこでどんな活動をやっているの？

市民団体と市が協働で取り組んでいる環境保全活動を紹介します。近くで行われている活動や、興味がある分野の活動があったら、参加してみたいかどうかでしょうか。

○ホタルの保全活動

「古代蓮の里ホタルの会」のボランティアと市が協力して、ホタルの幼虫の飼育・観察や放流などを行っています。

* 都市計画課
(TEL:048-550-1550)

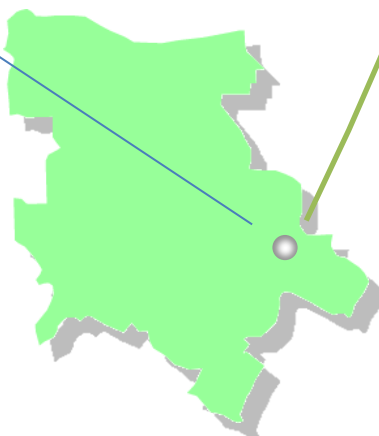


○田んぼアート

田植え体験者（一般参加者）及び田植えボランティアなどとともに、古代蓮の里東側にある 2.8ha の水田をキャンバスに見立て、色彩の異なる稲を植え、アートを作る取り組みです。

(表紙に絵図掲載)

* 農政課(TEL:048-580-3013)



○市内一斉！ごみゼロ運動

環境美化の一環として、春と秋の年2回、「行田市衛生協力会連合会」「行田市自治会連合会」との共催で、市民のみなさんと一緒に、市内一斉の清掃活動を実施しています。

* 環境課(TEL:048-556-9530)

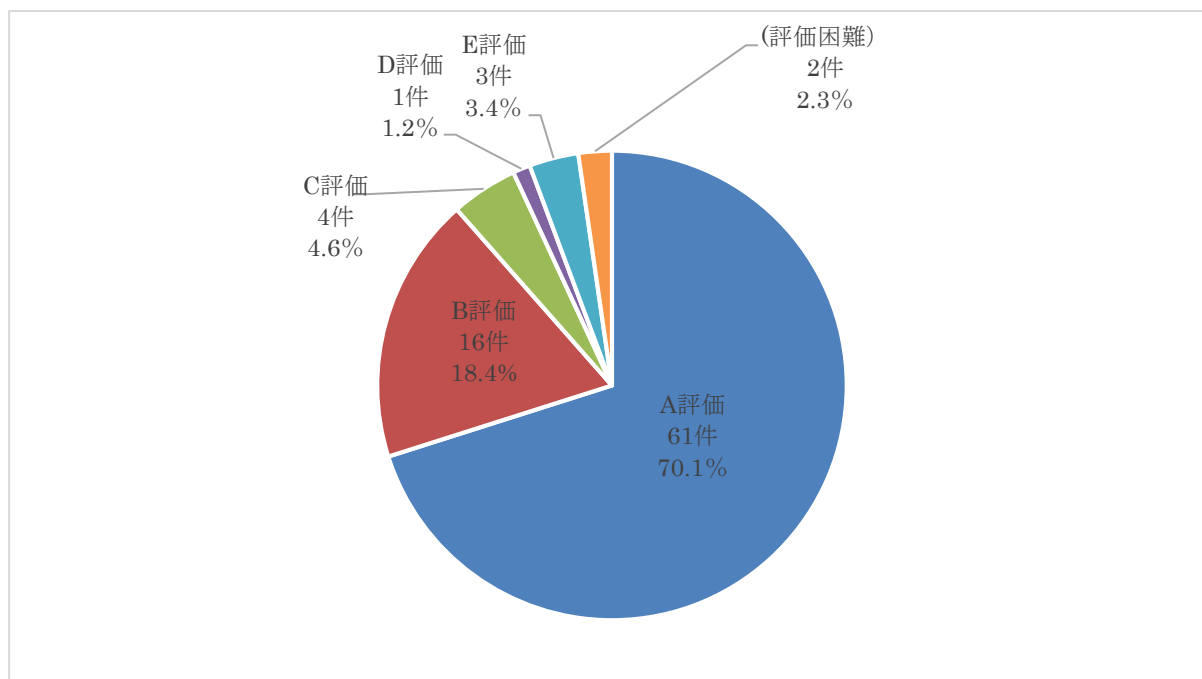


全体総括

実行計画（前期）の取組は概ね順調に進展しており、令和7年度の評価では目標を達成したA評価が全体の約7割を占める結果となりました。

一方で、情勢の変化や事業の休止等により評価が低位となっている項目も見られることから、施策の見直しや改善を図りながら、目標達成に向けた取組みを着実に推進していきます。

●評価の分布



評価基準		件数
A	目標が達成されている（目安：100%）	61
B	目標達成のための取組みは行われており、概ね達成されている（目安：80%以上）	16
C	目標達成のための取組みは行われているが、達成がやや不十分である（目安：40%～80%）	4
D	目標達成のための取組みは行われているが、達成が不十分である（目安：40%未満）	1
E	目標達成のための取組みが行われていない（目安：0%）	3
- (ハイフン)	評価することが困難である 事業実施予定なし	2
合計		87

指標・評価一覧表（令和6年度分）

施策1 気候変動：
カーボンニュートラル

指標名	評価	頁
1. 市街地の街路照明灯のLED照明導入率	A	8
2. 自転車の利用しやすい道路の整備延長	B	8
3. 公共交通の利用者数	A	8
4. 市内循環バスなど公共交通の利便性に不満を感じている人の割合	A	8
5. 市域から排出される温室効果ガス排出量削減	B	8
6. 公園園内灯のLED照明導入数	A	9
7. 公共施設の電気使用量	B	9
8. 水道の有収率	B	9
9. 下水道施設（ポンプ場群）の電気使用量	A	9
10. 雨水貯留タンクの導入施設数	A	9
11. 市の業務から排出される温室効果ガス排出量削減	C	9
12. 太陽光発電システムの住宅設置率	A	10
13. 公共施設の太陽光発電システム導入施設数	A	10
14. 公共用施設の太陽熱温水施設の導入数	A	10
15. 公共施設の蓄電設備導入施設数	A	10
16. 公共施設での県産木材の使用	D	10
17. 住宅等での県産木材の使用	A	10
18. 田んぼダム整備面積	A	11
19. 小・中学校の校庭貯留施設整備	A	11
20. クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の整備	A	11

施策2 資源循環：
サーキュラーエコノミー

指標名	評価	頁
21. ごみ集積所における未分別件数	B	12
22. 再生利用率	A	12
23. 不用品情報の利用件数	B	12
24. 廃食用油の回収量	A	12
25. 建設リサイクル法の届出に対する分別解体状況の確認実施率	A	12
26. 建設リサイクル法の無届工事の監視・パトロール実施数	A	12
27. 一人一日あたりのごみ排出量	B	12
28. 食品廃棄物の削減	A	13
29. 規格外野菜の提供・販売	B	13
30. 環境センターの放流水の水質基準達成率	A	13
31. 長善沼最終処分場の地下水の水質基準達成率	A	13
32. ごみ収集やごみ処理に満足している人の割合	A	13
33. ごみ分別チャットボットの更新回数	C	13
34. 野外焼却に対する指導件数	A	13
35. 不法投棄防止看板の設置枚数	B	14
36. 不法投棄監視パトロール回数	A	14

施策3 自然環境：
ネイチャーポジティブ

指標名	評価	頁
37. ビオトープ設置数	E	15
38. 希少種の数	-	15
39. 動植物の種類	-	15
40. 指定文化財（樹木）の箇所数	A	15
41. キタミソウの生育確認回数	A	15
42. アライグマの駆除件数	A	16
43. クビアカツヤカミキリ対策箇所数	A	16

44. クビアカツヤカミキリ被害状況調査回数	A	16
45. 緑道の面積	A	16
46. 公園の面積	A	16
47. 生産緑地の面積	B	16
48. 樹木や雑草などの管理に関する指導件数	B	16
49. 親水空間のある公園数	A	17
50. 河川等の水辺空間の整備	A	17
51. 直売所の出展者数（JA直売所、古代蓮の里売店）	A	17
52. 田んぼアートの参加人数	A	17
53. 農地中間管理事業取組面積	B	17
54. 耕作放棄地面積	C	17

施策4 生活環境

指標名	評価	頁
55. 環境基準達成率 ダイオキシン類濃度	A	18
56. 環境基準達成率 浮遊粒子状物質（SPM）濃度	A	18
57. 環境基準達成率 二酸化硫黄（SO ₂ ）濃度	A	18
58. 環境基準達成率 二酸化窒素（NO ₂ ）濃度	A	18
59. 野外焼却に対する指導件数（再掲）	A	18
60. 公用車への低公害車などの導入率	A	19
61. 市内循環バスへの低公害車などの導入率	A	19
62. 樹木などの有害性の低い薬剤の使用箇所	A	19
63. 環境基準達成率（1河川4水路×年4回） 生物化学的酸素要求量（BOD）	B	19
64. 環境基準達成率（1河川4水路×年4回） 水素イオン濃度指数（pH）	A	19
65. 環境基準達成率（1河川4水路×年4回） 浮遊物質（SS）	A	19
66. 環境基準達成率（1河川4水路×年4回） 溶存酸素量（DO）	A	19

67. 合併処理浄化槽の転換補助件数	C	20
68. 合併処理浄化槽の法定点検率	A	20
69. 下水道整備率	B	20
70. 土壌環境基準達成率（3カ所×年1回） ダイオキシン類濃度	A	20
71. 地下水環境基準達成率（5カ所×年1回） トリクロロエチレン	A	20
72. 地下水環境基準達成率（5カ所×年1回） テトラクロロエチレン	A	20
73. 地下水環境基準達成率（5カ所×年1回） 1,1,1-トリクロロエタン	A	20
74. 透水性舗装の整備面積	B	20
75. 道路騒音の環境基準達成率	A	21
76. 上越新幹線騒音の測定値	B	21
77. 景観について魅力を感じている人の割合	A	21

施策5 環境保全活動

指標名	評価	頁
78. 行田市環境報告書の公表回数	A	22
79. 市民（市民団体）、事業者との協働事業件数	A	22
80. ごみゼロ運動の実施回数	A	22
81. 公園の美化活動の実施回数	E	22
82. 環境教育の実施小・中学校数	A	23
83. 環境に関する出前講座の実施回数	E	23
84. 市民大学における環境教育関係講座の実施回数	A	23
85. 緑化コンクールへの参加校数	A	23
86. 緑や花のイベント実施回数	A	23
87. 埼玉県環境教育アシスタント及び埼玉県環境アドバイザーの登録件数	A	23

○評価基準は、下記のとおりです。

A=目安：100%

B=目安：80%以上

C=目安：40～80%

D=目安：40 未満

E=目安：0%

「-」=評価が困難・事業実施予定なし

令和7年度版 行田市環境報告書
～この地球とともに～

令和8年3月発行

発行 行 田 市

編集 行田市環境経済部環境課

〒361-0031

埼玉県行田市緑町13番12号

電話 (048) 556-9530

FAX (048) 553-0792